かるたでしもつけ再発見

『下野市ふるさとかるた』今月は「つ」です

国分寺境内では、毎年7月のお祭り前日、夕方から子どもたちが集まって相撲を取る、「宵待ち相撲」風習があります。

昔から、子孫繁栄や五穀豊穣を祈念して、神社などで相撲が行われることがあり、現代でも多くの地方でみられます。

相撲の歴史は非常に古く、古墳時代の埴輪でも力士の姿が見られます。「日本書紀」には野見宿禰当麻蹴速（のみのすくねたいまのけはや）の戦いが記され、力士同士の戦いの最古のものと言われています。

「まわし」を締めて戦う姿は昔から変わらず、相撲は神々に敬意と感謝を示す行為として、神聖なものとなっています。現代の大相撲でも何重にも固く締めた「まわし」をして土俵にあがりますが、その「まわし」が外れると、外れた力士が負けとなります。滅多にありませんが、2000年5月場所で83年ぶりにあり、スポーツ新聞が売り切れるほどインパクトがあったそうです。

また、大相撲の決まり手は、日本相撲協会が定めた相撲の技（決まり手）82手と、非技（勝負結果）が5手ありますが、まだ決まったこのとのない幻の技があるそうです。ぜひ、調べてみてください。

つ

月の夜に
子どもら集まる
よい待ちずもう

音声版広報（デイジー版CD及びテープ版）が無償でご利用できます。
この音声版は音訳ボランティアさんのご協力をいただき作成しています。
ご希望の方は、社会福祉協議会ボランティアセンター ☎(43)1236までご連絡ください。

男女共同参画社会

ポジティブ・アクション④

▽ポジティブ・アクションの効果

①女性従業員に積極的に業務に取り組む姿勢が生まれた。
②社員の定着率が向上した。
③女性活躍のための社内制度見直しにより、これまでの方法や制度の問題点が明らかになり、改善された。

ポジティブ・アクションに取り組むことにより、採用や社員教育コストが減少したり社内の業務改革が進展するほか、社内全体が活性化するなど、企業経営全体にとってもプラスの効果をもたらすことが期待されます。

さらに、ポジティブ・アクションに取り組むことで、企業イメージも向上します。

【ポジティブ・アクション】
固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から、男女社員の間に差が生じている場合、格差を解消しようと個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組のこと。

■問い合わせ先
総合政策課
☎(40)5550

女性の活躍を推進しています POSITIVE ACTION

まずは相談

ソーラーシステムの訪問販売トラブルに注意！

売電収入についての過剰な説明や、補助金の対象外であるのに「補助金が受けられる」との説明、長時間にわたる勧誘等が見受けられます。

複数の事業者から見積もりを取り、事業者の対応を含めて比較し、納得できる事業者と契約しましょう。

事業者の説明をうのみにせず、補助金が受けられる条件、発電量や売電量の目安など、自分でも情報収集しましょう。

訪問販売で契約した場合には、クーリング・オフが可能です。困ったときは、消費生活センターに相談しましょう。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル(44)4883
国分寺庁舎2階
生活安全課内

■相談日時　月～金曜日
（祝日・年末年始を除く）
午前9時～午後5時
（正午～午後1時を除く）
※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ
☎028(625)2227

わかるかな？

まちがいさがし

２枚の写真には違っているところが３つあります。
見つけてみてください。
（印刷の汚れは除く。）

※答えは 47 ページ

グリムフェスティバルの様子▶